



新しい進路に胸膨らませ91人が巣立つ 第12回鶴翔高校卒業式

第 12回卒業式が3月1日、厳粛な雰囲気の中で挙行され、91人の卒業生が巣立っていきました。

前田良文校長は、「複雑で混沌(こんとん)とした様相を深めつつある社会情勢の中で、決してひるむことなく、前向きに、感謝の気持ちとともに凛と力強く生きてください」と卒業生を激励しました。

卒業生は3年間で大きく成長し、進路実現を果たしました。琉球大学工学部(沖縄県)に一般試験で合格した総合学科の新町隼人さん(阿久根中出身)は「3年間さまざまな経験をさせていただき、とても充実した学校生活を送ることができました。アカデミア系列で学業に励み、大学入試を突破できたことが本当にうれしいです。これからも学業を頑張りたいです」と意気込みを話しました。

卒業生のこれからの社会での活躍と鶴翔生のますますの躍進が期待されます。



「ジビエ利用」の新事業を提案し特別賞! 鹿相信用アグリビジネスコンテスト

県 内の学生や企業が地域活性化につながる農業や食の新事業案を披露する「アグリビジネスコンテスト」(鹿児島相互信用金庫主催)の最終選考会が3月5日、鹿児島市の本部ビルで開かれ、鶴翔高校は特別賞を受賞しました。

出席した食農研究部の生徒5人は、鹿肉醤油の商品開発と今後のマーケティングプランの案を発表し受賞。当時1年の洲崎晴華さん(野田中出身)は「自分たちが考え、取り組んできたことが評価され、とてもうれしかったです。今後の研究にさらに励んでいきたいです」と意気込みを話しました。

将来の夢実現を見据えて真剣な表情 進路ガイダンス

3 月14日、生徒たちの進路選択に役立ててもらおうと県内外24の企業や上級学校から講師を招いた進路ガイダンスが実施されました。

進学希望者と就職希望者の2グループに分かれ、当時2年生の生徒たち92人は各上級学校・企業からの説明に真剣な表情でじっくりと耳を傾けていました。

アカデミア系列で進学希望の松尾遼さん(阿久根中出身)は、「上級学校の先生と直接お話することができて、とても勉強になりました。進路実現を目指し、これからも頑張りたいです」と目を輝かせていました。

